

腎臓内科

スタッフ紹介



診療部長
たまがき けいいち
玉垣 圭一
講師 (H9)

くさば 哲郎	学内講師	(H11)
きりた 雄平	助教	(H20)
こまき 和美	助教	(H20)
みはら 悠	助教	(H23)
いしだ 良	医員	(H19)
せがわ 由佳	医員	(H22)
やました のりゆき	医員	(H22)
たけもと れいな	医員	(H25)
たなか ひさや	医員	(H30)

私たちの業務

◆ 初期腎疾患への対応から末期腎不全のケアまで

腎炎、ネフローゼ、全身性疾患（糖尿病、膠原病等）に伴う急性腎障害から末期腎不全まで幅広く対応しています。腎生検を実施し、電子顕微鏡的組織診断を含めて確定診断を行い、最適な治療法を選択します。末期腎不全の患者さんのためには、種々の腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）を説明し、患者様の希望も考慮して最適な方法を選択し、その導入までをお世話します。

◆ 希少疾患・指定難病について

当科では、IgA腎症、一次性ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎、ANCA関連血管炎などの指定難病に加え、C3腎症、非典型溶血性尿毒症症候群（aHUS）などの希少腎疾患に対する専門診療を行っています。また、小児移行期の患者さんも積極的に受け入れています。

◆ 慢性腎臓病について

慢性腎臓病の原因（慢性腎炎、糖尿病、高血圧など）を把握して、栄養指導も含めた総合的な治療を行い、患者さんへは生活習慣の改善を指導します。近隣の開業医の先生と連携し、慢性腎臓病の早期発見と進行予防に努めます。

◆ 腎代替療法について

末期腎不全の患者さんの代替療法として、最適な方法（血液透析・腹膜透析・腎移植）を選択します。患者さんの症状や検査所見を考慮して血液透析および腹膜透析の導入を行います。腎移植は泌尿器科と連携して術前評価と術後管理を行います。

◆ 高血圧・生活習慣病・肥満症について

当科では高血圧に代表される生活習慣病および最近保険適応となった肥満症への治療も積極的に行っています。高血圧に関しては4名の高血圧学会専門医が中心となって対応し、最近保険適応となった腎デナベーションについても循環器内科と連携の上診療いたします。また生活習慣病診療の一環として、持続性GLP-1受容体作動薬や持続性GIP/GLP-1受容体作動薬を用いた肥満症治療に取り組んでいます。

外来診療担当医師予定表

令和8年6月1日現在

	月	火	水	木	金
初診	竹本	田中	瀬川	石田	山下
再診	玉垣 三原	草場 山下	玉垣 小牧	桐田 三原	草場 小牧
腹膜透析		玉垣		瀬川	
腎代替療法選択	玉垣		玉垣		
高血圧・肥満・生活習慣病		草場			山下

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
ネフローゼ症候群 急性腎炎 慢性腎炎 進行性糸球体腎炎 その他腎疾患	必要に応じて腎生検を実施	病理診断により最適な治療を選択します。
慢性腎臓病	超音波検査、CT 腎機能検査 血圧日内変動検査 生活習慣指導	外来にて最適な治療を行います。 1週間の「腎臓病（CKD）パス」入院も行っています。
末期腎不全	シャント手術→血液透析導入 腹膜透析カテーテル留置術→腹膜透析導入 腎移植の術前評価、術後管理	腎代替療法の説明：「腎代替療法選択」専門 外来（予約制）を設けています。 「透析導入パス」を使用しています。 「腎移植外来」では泌尿器科と連携して診療を行っています。
高血圧、生活習慣病、肥満症	生活習慣病全般→腎臓病や心血管に代表される標的臓器障害の評価 高血圧→2次性高血圧の評価、腎デナベーションの適応の評価 肥満症→肥満をきたす原疾患の検索、食習慣、運動習慣の評価	栄養指導、運動療法の指導などの生活習慣の改善指導を実施します。 各科とも連携し、腎臓病や心血管疾患に対する適切な診療を実施します。 栄養相談などを実施しても改善が不十分な肥満症に対して薬物療法を実施します。

府立医大 循環器・腎臓内科 医局

TEL 075-251-5511 FAX 075-251-5514

URL <https://www.h.kpu-m.ac.jp/doc/departments/clinical-departments/nephrology.html>

救急対応 腎・尿路センター外来 TEL 075-251-5033（外来時間帯）

救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646